

Traders Market Report

【トレイダーズ・マーケット・レポート】
トレイダーズ・アイ



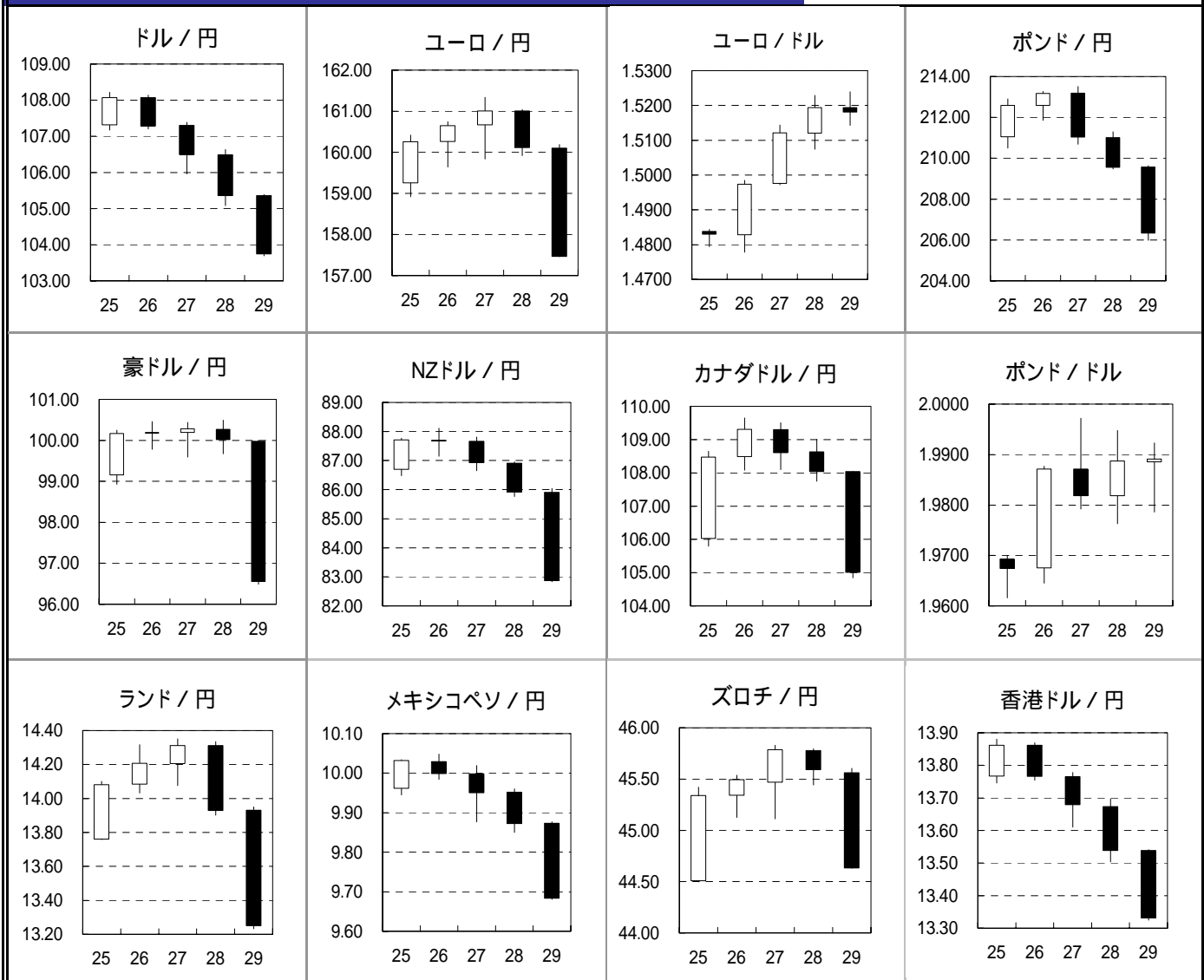
毎週月曜日(祝祭日除く)発行

平成20年3月3日

【週刊】 為替レポート

World Market Review for last week

2008/2/25 ~ 2008/2/29



通貨の高値と安値はインターバンクにおける瞬間値です。参考値としてお考えください。

先週のマーケットポイント

25日	1月の米中古住宅販売は前月比 0.4% = 全米リアルター協会
25日	MBIAをクレジットウオッチから除外 = S & P
26日	2月米CB消費者信頼感指数は75.0と5年ぶり低水準
26日	成長へのリスク、インフレリスクを上回っている = コーンFRB副議長
27日	1月の米耐久財受注、前月比 5.3% = 商務省
27日	1月の米新築1戸建て住宅販売、前月比 2.8%の年率58.8万戸 = 商務省
27日	FRBは成長支援に向けタイムリーに行動、下方リスクに対し保険を提供へ = パーナンキFRB議長
28日	サブプライム問題の影響で中小金融機関が破綻する可能性 = パーナンキFRB議長
28日	米新規失業保険申請件数は37.3万件、前週は35.4万件 = 労働省
29日	2月の米ミシガン大消費者信頼感指数確報値は70.8、前月78.4
29日	2月のシカゴ地区購買部協会景気指数は44.5、前月は51.5

当レポートの著作権はトレイダーズ証券に属し、許可無く複製等を行うことは出来ません。情報に関しては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。万一この情報に基づき被った損害について、トレイダーズ証券は責任を負いかねます。また、掲載されている事項は、トレイダーズ証券のご案内のほか、外国為替・株式等の投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。最終的な投資の意思決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い致します。なお、金融先物取引は価格又は金融指標の数値により損失が生ずる恐れがあり、発生する損失が預託された金額を超える場合があります。事前にお渡した契約締結前書面又は説明書をよくお読みください。

<<Market Review>> - 先週 -

2008/2/25 ~ 2008/2/29

先週の外国為替市場は、円やスイスフランといった低金利通貨が買われた一方で、豪ドル、NZドルといった高金利通貨が売られた。また、ドルもこれら以外の主要通貨に対して軟調に推移した。

先週は、米国経済指標の悪い結果、そして米金融当局者による景気後退発言が目立った。月曜日に発表された中古住宅販売件数こそ市場予想を上回ったものの、火曜日に発表された2月消費者信頼感指数は5年ぶりの低水準、水曜日に発表された1月新築住宅販売では在庫比率が約26年ぶりの高水準、耐久財受注も大幅な悪化、木曜日には新規失業保険申請件数が市場予想を下回り、金曜日の2月ミシガン大学消費者信頼感指数が16年ぶりの低水準、2月シカゴ地区購買部協会景気指数も約7年ぶりの水準まで急低下するという結果だった。

経済指標の悪化に加えて、火曜日に講演したコーンFRB副議長は、インフレリスクよりも景気後退のリスクの方が強いと述べたほか、翌日にはバーナンキFRB議長も追加利下げを示唆する発言をし、ドルは全面安となった。

ユーロ/ドル相場は、1.50台にあっさり乗せ、その後も上値を拡大。一時、1.52台中盤まで上昇して史上最高値を更新する動きを見せた。

ドル/円相場も105円を割り込んでさらに下値を拡大。3年ぶりの円高・ドル安を示現した。

クロス円も軒並み軟調に推移。特に週末に米国株式市場が大幅な下げに転じたこともあり、金曜日に急速に値を崩す展開となった。豪ドル/円相場は、金曜日一日だけで4円近い急落劇を見せている。
<及川 佳奈子>

Historical Data Weekly O-H-L-C

USD/JPY	107.27-107.32	108.19-108.22	103.78-103.83	103.87-103.92
EUR/USD	1.4836-1.4841	1.5237-1.5240	1.4777-1.4780	1.5177-1.5182
EUR/JPY	159.21-159.28	161.37-161.46	157.58-157.65	157.68-157.75
GBP/USD	1.9690-1.9698	1.9968-1.9974	1.9613-1.9619	1.9866-1.9874
GBP/JPY	211.28-211.43	213.48-213.58	205.94-206.02	206.39-206.49
AUD/JPY	99.10-99.17	100.49-100.54	96.60-96.67	96.75-96.82
NZD/JPY	86.61-86.71	88.07-88.15	82.84-82.93	83.04-83.14
CAD/JPY	105.89-105.99	109.61-109.69	105.35-105.44	105.49-105.59
MXN/JPY	9.93-9.98	10.02-10.07	9.65-9.70	9.68-9.73
ZAR/JPY	13.79-13.89	14.34-14.40	13.17-13.25	13.21-13.29
PLN/JPY	44.56-44.68	45.81-45.87	44.47-44.59	44.66-44.78
HKD/JPY	13.74-13.79	13.87-13.90	13.31-13.36	13.33-13.38

Market Point

トレーダーズTV

朝9:00 ~ 昼12:00 ~ 夕17:00 ~



FXシミュレーションゲーム「Net Forex ダービー」

参加無料！ 賞品総額100万円！

番組を見る <http://www.traderssec.com/traderstv/mpoint/>

詳しくは <http://www.traderssec.com/nfd/>

<<Market Outlook>> - 今週 -

(3/3 MON ~ 3/7 FRI)

今週のドル円相場は荒っぽい展開になる可能性が高い。米景気後退がテーマの円高・ドル安基調は当分変わりそうにないため、ドル円は05年1月の101.67や99年11月の101.25までの下げが視野に入ってきた。さらに日本では主要企業の3月の決算月に入り、対外資産の自国回帰が進行すれば、さらに円高を加速させやすい状況ともいえる。

ただ、急な円買いで持ち高の偏りに伴う反動リスクも拡大している。市場では、当局の口先介入などが原因で円高の流れが一変しかねない、との声もあるのは事実。105、106円程度まで調整する場面も想定すべきだろう。

前週末のニューヨーク市場でドル円は、米経済の先行き懸念を背景にしたドル売りや日米欧の株安を受けた円買いの双方の圧力が加わって円高・ドル安が進んだ。前日にAIGがサブプライムローン関連などで多額の評価損計上を発表したことや英ヘッジファンドが金融市場の混乱などの影響で傘下ファンドの一つを清算するとの報道も伝わり、信用収縮懸念が広がる中でアジア・欧州株が大きく下落し、米国株も大幅安で始まると、円買い・ドル売り圧力が強まった。

シカゴ購買部協会がこの日発表した2月の景気指数が44.5と1月よりも7ポイント下がり、米経済の先行きに不安が増す内容だったことも株価下落と円買い・ドル売りの流れに拍車をかけた。午後には米国株が一段安となると円買いが加速し、ドル円は市場が終了間際に約3年ぶりとなる103.70まで下落した。

また、円は対ユーロでも大幅伸伸した。このところの急速なユーロ買い・ドル売りの反動で、ニューヨーク市場では持ち高調整のユーロ売りが出た影響もあり、ユーロ円も約2週間ぶりに157円台半ばまで値を下げた。2月初めにつけた154.06が次のターゲットになる。

米国以外の主要国の経済指標が比較的堅調な中で、米国経済指標のみ「見劣りがする」数字を発表し続けていることが、先

週のドル安の流れが広まった原因ともいえる。

それゆえに、今週発表される米経済指標にはより多くの注目が集まろう。

本日3日は、米2月製造業景況感指数、5日には同じく非製造業景況感指数やいわゆるページブック(地区連銀経済報告)、7日金曜日は雇用統計が発表になる。4日には、バーナンキFRB議長の講演が予定されており、先週同議長の議会証言がドル売りの流れを加速させた一因となったこともあって注目度は高い。

このほか、オセアニアや欧州、カナダで金融政策会合の開催が相次ぐ。豪州とカナダは4日、ニュージーランドと英国、ユーロ圏は6日に結果が明らかになる。

豪州で0.25程度の利上げ実施が予想される一方、カナダでは金利引き下げの観測がある。豪ドルはすでにこの利上げを織り込んでおり、先週記録した対ドルでの24年ぶりの高値0.9498米ドルをトップに、過去6週間で約0.10米ドル上昇した反動もあり、下落し始めている。

日本では日銀が6-7日に金融政策決定会合を開く。福井総裁は今回が任期中最後の会合となる。日銀総裁後任人事を巡って与野党間で政治的混乱を招き日本株が下落するようなことがあれば、円高を後押しする可能性もある。

<トレーダーズ投資顧問 藤田 規之>

当レポートの著作権はトレーダーズ証券に属し、許可無く複製等を行うことは出来ません。情報に関しては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。万一この情報に基づき被った損害については、トレーダーズ証券は責任を負いかねます。また、掲載されている事項は、トレーダーズ証券のご案内のほか、外国為替・株式等の投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。最終的な投資の意思決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い致します。なお、金融先物取引は価格又は金融指標の数値により損失が生ずる恐れがあり、発生する損失が預託された金額を超える場合もあります。事前にお渡した契約締結前書面又は説明書をよくお読みください。

今週のマーケット予想

3/3 ~ 3/7の週

	100.00	101.00	102.00	103.00	104.00	105.00	106.00
USD/JPY							
	154.00	155.00	156.00	157.00	158.00	159.00	160.00
EUR/JPY							
	1.4800	1.4900	1.5000	1.5100	1.5200	1.5300	1.5400
EUR/USD							
	93.00	94.00	95.00	96.00	97.00	98.00	99.00
AUD/JPY							

レンジ予想は営業企画課によるものです。

今週の重要指標発表予定

表示の時間は日本時間です。

予定は変更される場合があります。

月日	曜日	時間	国名	発表指標	前回発表	予想
3月3日	月	19:00	欧	2月1-0圏 消費者物価指数速報(前年比)	3.2%	3.2%
3月3日	月	22:00	米	フィラデルフィア連銀総裁、講演	-	-
3月3日	月	22:30	加	第4四半期GDP(四半期/年換算)	2.9%	1.0%
3月4日	火	0:00	米	2月ISM製造業景況指数	50.7	49.0
3月4日	火	0:00	米	1月建設支出(前月比)	-1.1%	-0.6%
3月4日	火	12:30	豪	RBAキャッシュレート	7.00%	7.25%
3月4日	火	19:00	欧	1月1-0圏 生産者物価指数(前月比)	0.1%	0.8%
3月4日	火	19:00	欧	第4四半期1-0圏GDP季調済改定値(前年比)	2.3%	2.3%
3月4日	火	23:00	米	バーナンキFRB議長、講演	-	-
3月4日	火	23:00	加	カナ銀行金利	4.00%	3.75%
3月5日	水	3:00	米	ダラス連銀総裁、講演	-	-
3月5日	水	9:30	豪	第4四半期GDP	4.3%	3.8%
3月5日	水	19:00	欧	1月1-0圏 小売売上高(前月比)	-0.1%	0.4%
3月5日	水	22:15	米	2月ADP雇用統計	12.6万人	1.5万人
3月5日	水	-	米	石油輸出国機構(OPEC)定例総会	-	-
3月6日	木	0:00	米	2月ISM非製造業景況指数(総合)	44.6	48.0
3月6日	木	4:00	米	Fed's Beige Book	-	-
3月6日	木	5:00	NZ	RBNZオフィシャル・キャシュレート	8.25%	8.25%
3月6日	木	9:30	豪	1月貿易収支	-A\$19.36億	-A\$28.00億
3月6日	木	14:00	日	1月景気動向指数速報値 先行	45.5%	30.0%
3月6日	木	21:00	英	BOE金利発表	5.25%	5.25%
3月6日	木	21:45	欧	ECB金利発表	4.00%	4.00%
3月6日	木	22:00	米	ボストン連銀総裁、講演	-	-
3月6日	木	22:30	米	新規失業保険申請件数	37.3万件	35.2万件
3月7日	金	0:00	加	2月Ivey購買部協会指数	56.2	55.0
3月7日	金	3:00	米	NY連銀総裁、講演	-	-
3月7日	金	-	欧	トリシェECB総裁、講演	-	-
3月7日	金	9:30	米	ボストン連銀総裁、講演	-	-
3月7日	金	10:00	米	セントルイス連銀総裁、講演	-	-
3月7日	金	0:00	日	日銀目標金利(無担保コール翌日物)	0.50%	0.50%
3月7日	金	14:00	米	カンザスシティ連銀総裁、講演	-	-
3月7日	金	15:30	日	福井日銀総裁、記者会見	-	-
3月7日	金	17:00	米	ダラス連銀総裁、講演	-	-
3月7日	金	19:00	米	サンフランシスコ連銀総裁、講演	-	-
3月7日	金	21:00	加	2月失業率	5.8%	5.9%
3月7日	金	22:30	米	ミシュキンFRB理事、講演	-	-
3月7日	金	22:30	米	2月非農業部門雇用者数変化	-1.7万人	3.5万人
3月7日	金	22:30	米	2月失業率	4.9%	5.0%
3月8日	土	0:15	米	コーンFRB副議長、講演	-	-
3月8日	土	5:00	米	1月消費者信用残高	\$45億	\$76億
3月9日	日	-	米	夏時間入り	-	-

当レポートの著作権はトレイダース証券に属し、許可無く複製等を行うことは出来ません。情報に関しては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。万一この情報に基づいた損害について、トレイダース証券は責任を負いかねます。また、掲載されている事項は、トレイダース証券のご案内のほか、外国為替・株式等の投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。最終的な投資の意思決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い致します。なお、金融先物取引は価格又は金融指標の数値により損失が生ずる恐れがあり、発生する損失が預託された金額を超える場合もあります。事前にお渡した契約締結前書面又は説明書をよくお読みください。